

製品名: CD71 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08445**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	89kDa

抗原情報

遺伝子名	TFRC
別名	TFRC; Transferrin receptor protein 1; TR; TfR; TfR1; Trfr; T9; p90; CD antigen CD71
遺伝子 ID	7037.0
SwissProt ID	P02786
免疫原	抗血清はヒト CD71/TfR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 15-64

背景

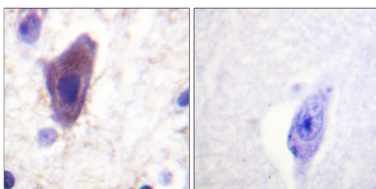
この遺伝子は、受容体を介したエンドサイトーシスによる細胞内鉄取り込みに必要な細胞表面受容体をコードしています。この受容体は赤血球生成と神経発達に必須です。複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2015年9月]

機能: 鉄の細胞内取り込みは、リガンド占有トランスフェリン受容体が受容体を介したエンドサイトーシスによって特殊なエンドソームに取り込まれることで起こります。エンドソームの酸性化により鉄が放出されます。その後、アポトランスフェリン受容体複合体は細胞表面に再循環され、pHは中性に戻り、同時にアポトランスフェリンと受容体の親和性は失われます。トランスフェリン受容体は、赤血球と神経系の発達に必須です(類似性による)。2番目のリガンドであるヘモクロマトーシスタンパク質 HFE は、重複するC末端結合部位をめぐってトランスフェリンと競合して結合します。誘導: 鉄調節タンパク質 IRP1 および IRP2 が 3'-UTR の鉄応答性エレメントに結合することで、細胞内鉄濃度によって調節されます。有糸分裂刺激によってアップレギュレーションされます。、その他: イヌおよびネコのパルボウイルスは、ヒトおよびネコのトランスフェリン受容体に結合し、これらの受容体を使用して細胞に侵入し感染します。、その他: 血清トランスフェリン受容体 (sTfR) は、アスリートによるエリスロポエチン (EPO) の乱用を検出する手段として、また関節リウマチ、妊娠、過敏性腸症候群、HIV 患者など、さまざまな病態に起因する貧血の診断テストとして使用されます。、PTM: N および O グリコシル化、リン酸化、およびパルミトイル化されています。血清型は糖鎖修飾のみを受けます。、PTM: Cys-62 と Cys-67 の両方がパルミトイル化されています。Cys-62 がパルミトイル化の主な部位と考えられます。、PTM: Arg-100 でタンパク質分解により切断され、可溶性血清型 (sTfR) が生成されます。、類似性: ペプチダーゼ M28 ファミリーに属します。M28B サブファミリーに属します。、類似性: 1つの PA (プロテアーゼ関連) ドメインを含みます。、細胞内局在: ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画において、質量分析によって同定されています。、サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。サブユニットあたり1つのトランスフェリンまたは HFE 分子と結合します。HLA クラス II 組織適合抗原 DR1 と結合します。SH3BP3 と相互作用します。マチュポアレナウイルス GPC と相互作用します。、

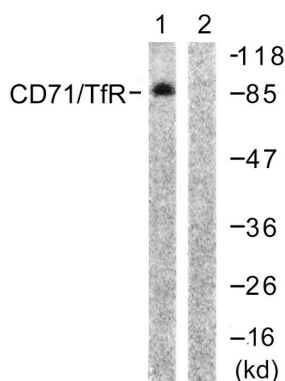
研究分野

タンパク質アセチル化

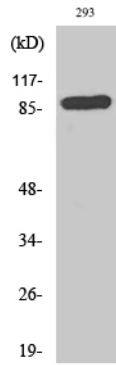
画像データ



CD71/TfR 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



293 細胞ライセートを PMA 125 ng/ml 30 分処理し、CD71/TfR 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



1: 2000 希釈の CD71 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析